

地球温暖化、環太平洋での地質活動 の活性化、関連する地震や火山活動 世界有数の災害大国日本

1987年国連総会IDNDR国際防災の10年決議採択
日本でも横浜戦略、兵庫行動枠組、東京宣言、
仙台防災枠組に加え学術団体等も様々な取組を
宣言等していますが

激甚災害の恐ろしさ

その日がきてからでは遅いのです

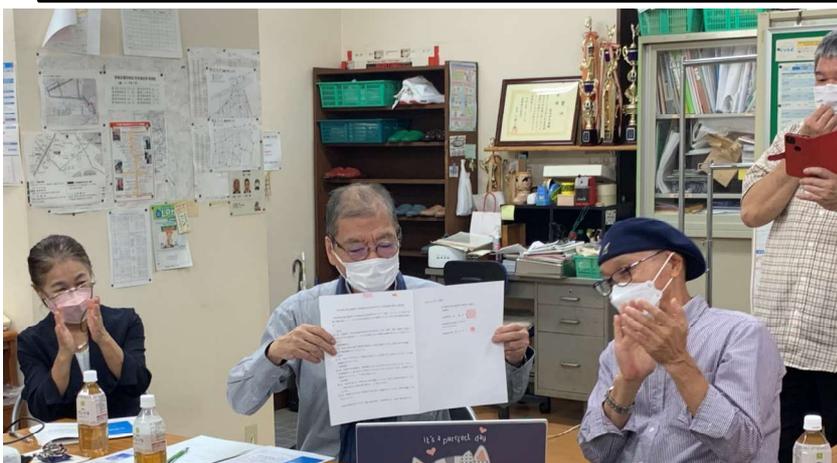
* 東日本大震災後に宮城に住む父母を訪ねた際の写真です。(右下は、中央写真と同じ場所に翌年訪問した際の写真) 仲町会での防災活動や内閣府TEAM防災ジャパンへの参画のきっかけとなりました。

渋谷区笹塚仲町会の平時からの取組をご紹介します。
その時あなたは、ご家族や大事な人と
生き延びることができますか。

避難所、福祉避難所等発災時に安心して避難できる場所本当にありますか？

自主防災組織は、町内会が大きな役割を果たしています。現地実情を踏まえた現実解を地域住民等に示す必要があります。

1つの解それは、避難受入れ先を平時に確保すること。



埼玉県小鹿野町役場様との平時からの友好交流協定書締結
コロナにより行動自粛時期でオンライン調印式実施

小鹿野癒しの宿組合様との避難受入れ協定書締結



埼玉県議
阿佐美様

小鹿野町
森町長様

仲町会
荒木会長

癒しの宿組合
宮本組合長

小鹿野町議会
皆本議長

小鹿野町
高橋副議長

顔役
吉岡様

その時温かく受け入れてもらうためには 平時からの友好交流が大事です。

子供会バスハイクや田植え、相互の祭礼時の訪問、
地域課題解消に向けた勉強会開催等々

楽しく相互理解を深めていく



小鹿野町産米100%で醸造した
友好の酒を、笹塚仲町会祭礼時
小鹿野町森町長様と
渋谷長谷部区長で鏡割り。

埼玉県小鹿野町の皆様と東京都渋谷区笹塚仲町会の友好交流

仲町会子供会と本取組で新たに交流が始まった
明治大学中川ゼミは、仲町会にゼミとして入会し、
若い風を町会に吹き込んでくれています。

楽しく輪が広がっていく



読売新聞首都圏版
友好交流取組が
記事になりました。
2024年5月25日

その時温かく受け入れてもらうためには 平時からの友好交流が大事です。

子供会バスハイクや田植え、相互の祭礼時の訪問、
地域課題解消に向けた勉強会開催等々

楽しく相互理解を深めていく



小鹿野町産米100%で醸造した友好の酒を、笹塚仲町会より現地小鹿神社に奉納しましたら、宮司様がお札をくださいました。

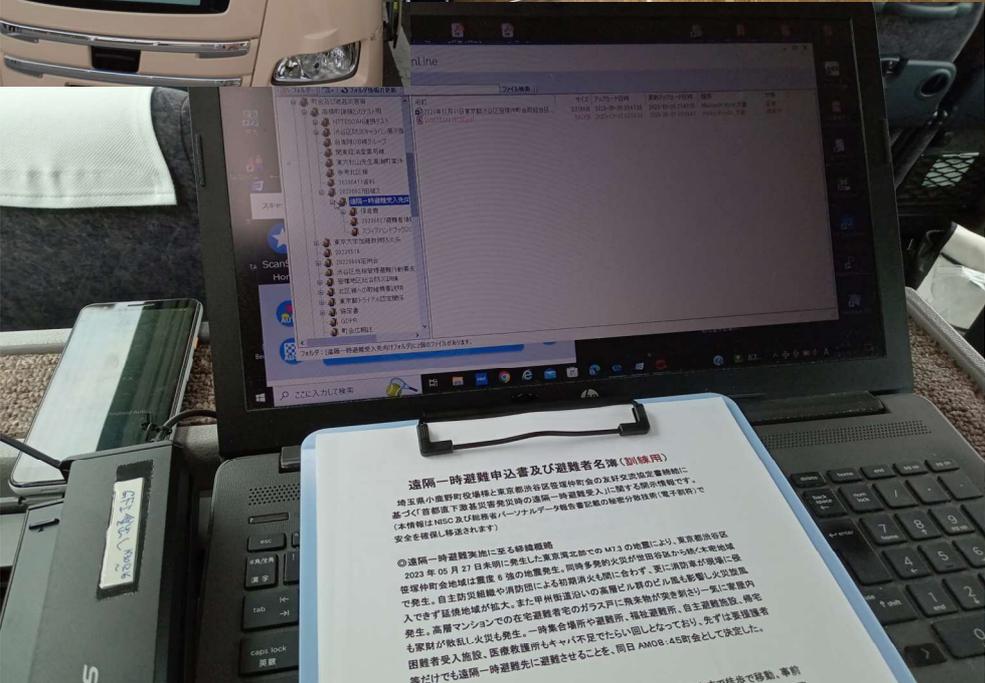


醸造してくださった、
港醸造様。
不思議と小鹿野町と
ご縁がありました。
ご縁でつながっていく

その時温かく受け入れてもらうためには 平時からの友好交流が大事です。

子供会バスハイクを避難受入れ時の移動訓練と
仮定した取組実施。

訓練の意味もあるけど基本は皆で楽しく



避難対象者情報を小鹿野町受入担当様共有一小鹿野町役場で避難者受入れ一現地の方々との意見交換会一明大中川ゼミの皆さんも混じり田植え一このお米がまた友好の酒の原材料になります。

総務省プライバシーデータ報告や NISC公開資料準拠した仕組みで 住民の機微な個人情報を安全管理

自主防災組織は、発災想定で事前に配布される機微な個人情報を安全管理しなければならない

自主防災組織要援護者名簿及び個別避難計画等安全管理システム

町会等自主防災組織が法令上平時に自治体から付与される**機微な個人情報**に対しても総務省パーソナルデータ報告書や内閣サイバーセキュリティセンター公開資料記載のセキュリティ技術を用いて手軽に安全管理でき、法令違反や実害発生を最小化できる。

渋谷区の町会でも現実の課題となっている避難行動要支援者名簿の**受取拒否**により、災害対策基本法の定める地域初動体制構築が進まない。また、自主防が準備する個別避難計画具備にも影響を与えている。町会等自主防災組織も法令上は民間企業と同じ扱いであり、**平時からの簡便な機微情報安全管理の仕組みが、災害対処のシナリオ崩壊を防ぐ。**

①渋谷区笹塚仲町会の取組成果である。現在埼玉県小鹿野町役場様との平時からの友好交流でも利用（**発災時の避難受入視野**）

②簡便で**極めて高度な個人情報等安全管理。**

③実装しているセキュリティ技術は、総務省パーソナルデータ報告書や内閣サイバーセキュリティセンター（NISC）の政府機関のセキュリティ対策の公開資料記載の**秘密分散技術（電子割符）**実装

④平時の安全管理とサイバー攻撃を受けた際の**流出後の流出ファイル完全廃棄**（法令解釈上も）処理や回復（BCP）も可。

⑤PPAP代替手段としても利活用できる。前述**NISC資料の具体例に準拠**

⑥対象ファイルの種類を問わず安全管理が可能で発災時**オフライン処理も可能。**

⑦自治体や民間も含め**多数長期の実績。**

⑧産総研評価により情報理論的安全性を備える報告され、**量子計算機でも解読できない。**

まずは町内会レベルでも保護対象情報の電子化と運用管理が**安全且つ手軽にできること**である。サイバー攻撃や自然災害等における**業務継続性にも資する機能も実装**しており個人情報を預ける側も預かる側も、指導監督する側も肩の荷がおりる。データ移送にも利用可能で、避難先への避難者情報先渡しや、避難所等と災対本との間の**安全な情報共有が速やかに**行なえることも、大きな利点。

用いている秘密分散技術はGFI電子割符®です

グローバルフレンドシップ株式会社

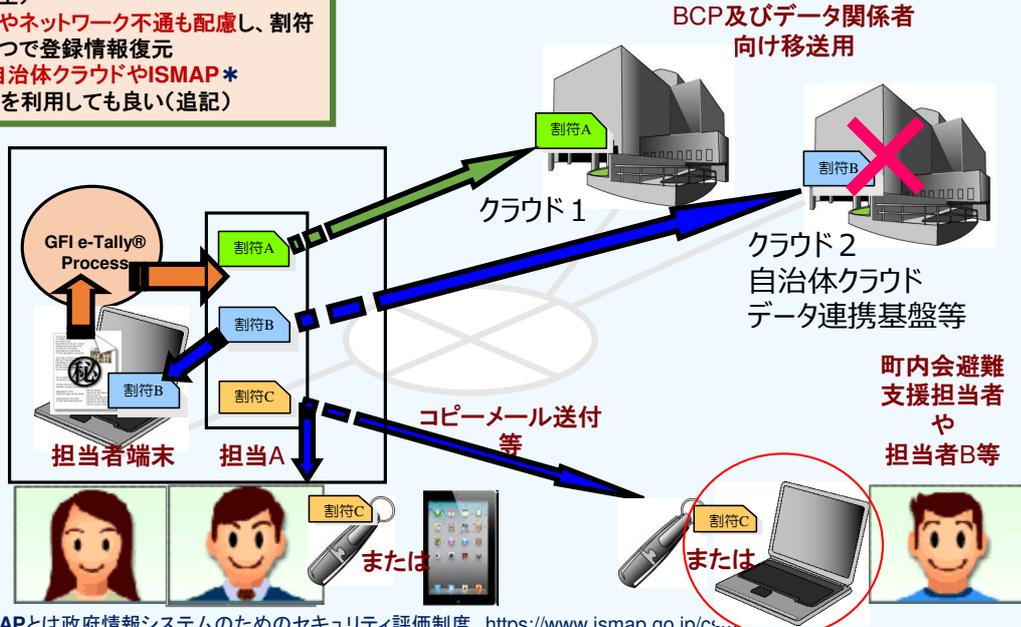
GFI電子割符®データセキュアマネジメントプラットフォームサービス

<https://bosai-dx.jp/operation/3396/>

住民の機微な個人情報を安全管理

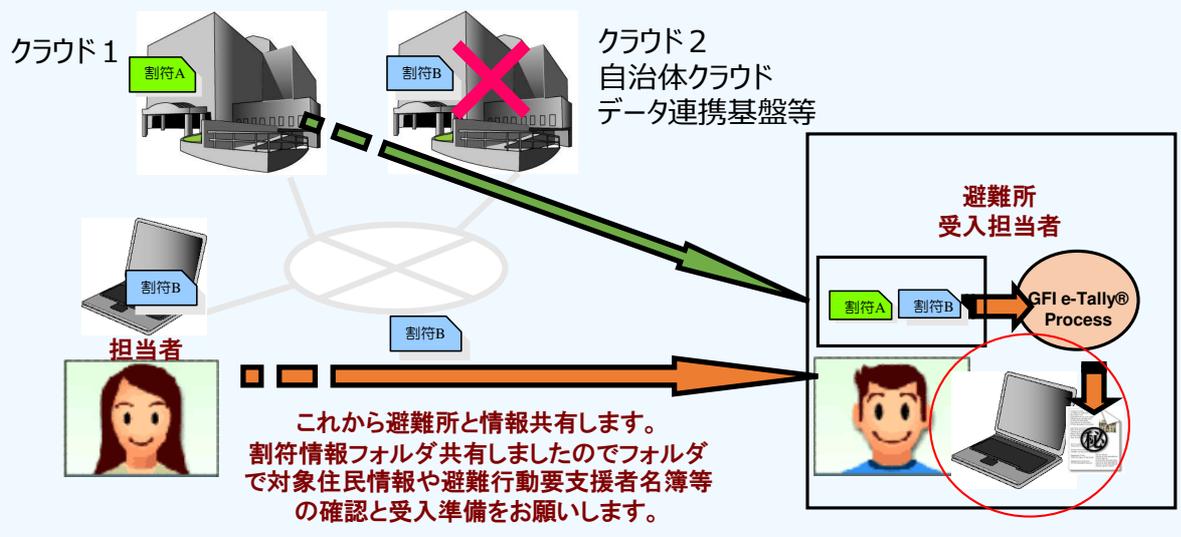
- ① 平時の安全管理(業務継続BCP対処含め)
- ② 遠隔避難等を視野に入れた安全なデータ移送

安全管理措置実施の処理は、自動化されている(割符は3-1型)
 ブラックアウトやネットワーク不通も配慮し、割符A,B,Cのうち2つで登録情報復元
 ◎クラウドは自治体クラウドやISMAP*
 対応クラウドを利用して良い(追記)



* :ISMAPとは政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 <https://www.ismap.go.jp/cs/m>

安全保管された割符を、組織外部で御担当者様や共有先と安全にデータ移送できれば、これから避難する住民情報を受け入れ先等が事前に確認し、受け入れ準備ができる
 * 内閣サイバーセキュリティセンター公開資料の要機密情報の移送項準拠
 ○ 避難受け入れ者名簿を作成しこの手法で自治体災害対策本部と情報共有も可能
 ◎ 衛星回線等による対応で通常回線ダウンも想定



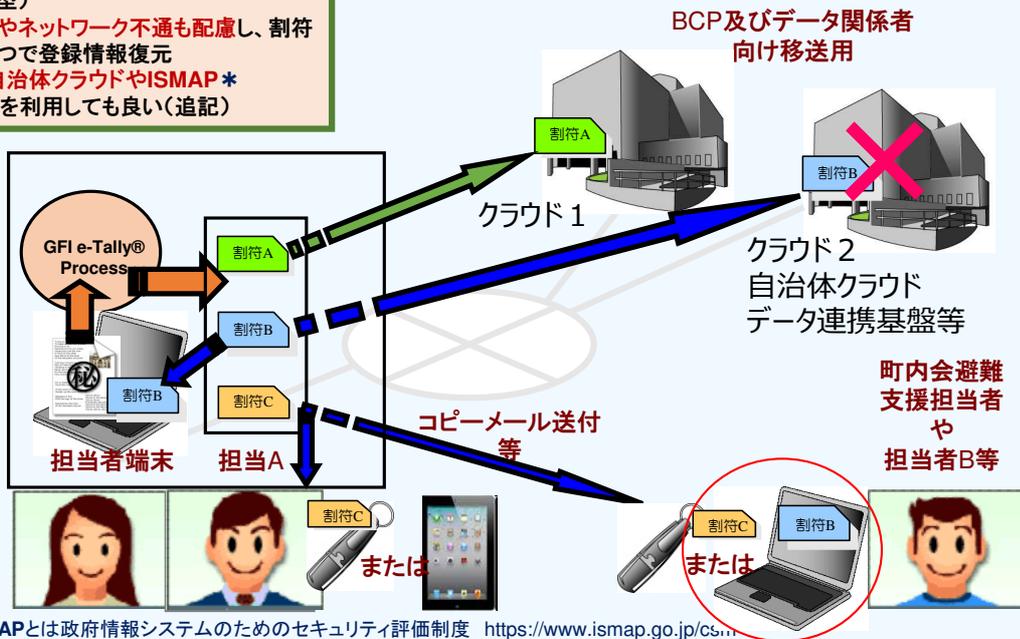
要機密情報移送経路をNISC資料準拠で安全確保

グローバルフレンドシップ株式会社
 GFI電子割符®データセキュアマネジメントプラットフォームサービス
<https://bosai-dx.jp/operation/3396/>

平時からの発災想定での訓練等が重要

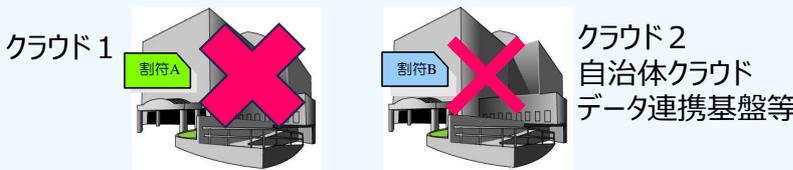
- ① ネットワーク機能不全
- ② 衛星回線接続できない場合でも

安全管理措置実施の処理は、自動化されている(割符は3-1型)
 ブラックアウトやネットワーク不通も配慮し、割符A,B,Cのうち2つで登録情報復元
 ◎クラウドは自治体クラウドやISMAP*
 対応クラウドを利用して良い(追記)

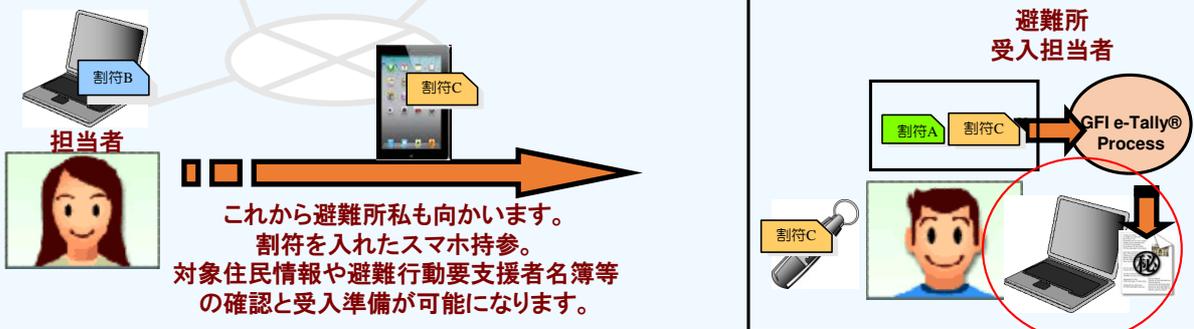


* : ISMAPとは政府情報システムのためのセキュリティ評価制度 <https://www.ismap.go.jp/cs/m>

安全保管された割符を、組織外部で御担当者様や共有先と安全にデータ移送できれば、
 これから避難する住民情報を受け入れ先等が事前に確認し、受け入れ準備ができる
 * 内閣サイバーセキュリティセンター公開資料の要機密情報の移送項準拠
 ○ 避難受け入れ者名簿を作成しこの手法で自治体災害対策本部と情報共有も可能
 ◎ 衛星回線等による対応で通常回線ダウンも想定



大丈夫です。発災前に現場端末に割符Aは入れてありました。
 割符Cも先の訓練の際にお預かりしていますので、対象住民情報や避難行動要支援者名簿等の確認と受入準備を進めています。



要機密情報移送経路をNISC資料準拠で安全確保

グローバルフレンドシップ株式会社
 GFI電子割符®データセキュアマネジメントプラットフォームサービス
<https://bosai-dx.jp/operation/3396/>